

皆さん、おはようございます。

1、2年生のみなさん、進級おめでとうございます。

今年度は、5月に新型コロナウイルスが5類感染症に引き下げられ、かつて当たり前だった日常が戻ってきた1年でした。毎日の授業や部活動、暇高祭、体育祭、探究活動の発表、国内や海外研修などで、皆さんが頑張っている姿や楽しそうな笑顔をたくさん見ることができました。私たち教職員も、皆さんからたくさん元気や勇気をもらいました。終業式の後、海外や国内の研修に参加した生徒からの報告がありますので、楽しみにしておいてください。

さて、春は出会いと別れの季節といいますが、本校でも、2月29日に第76回卒業証書授与式があり、76期生351名が本校を巣立っていきました。晴れの門出にふさわしい華やかで厳粛な卒業式でした。参列してくれた皆さん、演奏してくれた吹奏楽部の皆さん、部活で76期生を祝福してくれた皆さん、ありがとうございました。また、3月11日には令和6年度入試があり、428名が本校を受験してくれました。3月19日の合格発表では、ボードで自分の番号を見つけた合格者から歓声が上がリ、喜びの輪が広がりました。合格者のとてもうれしそうな笑顔が印象に残っています。そして、午後からの合格者オリエンテーションでは、合格者を生徒会執行部やクラブ員の皆さんが祝福の花道で迎えてくれました。4年ぶりの「おめでとうございます」という掛け声、心温まる光景でした。ありがとうございました。4月からは、先輩として79期生をしっかりと導いてください。

そして、3月、アイスクリームの自販機が食堂前に設置されました。生徒会長の立会演説会での選挙公約が実現しました。生徒会執行部の皆さんがよく頑張ってくれました。選挙公約が実現することは、現実の政治の世界ではなかなかお目にかかれないことです。しっかりとした手続きや全校生徒の意見を集約してのルール作りなど、暇高の民主主義はしっかり機能しているなど感心しました。今回のアイスクリームの自販機設置は、皆さんが民主主義や自治のあり方を学ぶ、とても良い機会になったと思います。しかし、民主主義は完璧ではありません。多数決の原理も民主的であると思われていますが、万能ではありません。多数者の横暴にならないように少数意見もしっかり反映するようなコンセンサスを作りあげることがとても大切です。自分たちの意見や要望をどのような形で実現していけばいいのか。皆さんも18歳になると有権者となります。今回の経験をぜひ今後活かしてください。皆さんで暇高の民主主義を成長させ、成熟させていってください。

最後に本校の教育方針の一部変更について、皆さんに報告があります。

本校の創立以来の教育方針は、皆さん知っていますよね？「質実剛健」「文武両道」を旨とし、「自主・自律・自由」の精神を育むことです。今年度、本校創立120周年に向けての会議の中で、同窓会から、次のような指摘がありました。

戦後の新制高校発足の時、1948年に本校と寝屋川高校との間で男女の交流があり、男女共学制度となりました。その際に、「質実剛健」は「質実典雅」に改められたというのです。「質実典雅」の漢字は、「質実」は同じで、「典雅」は国語辞典など辞典の「典」、雅は優雅の「雅」です。

「質実剛健」という言葉は、明治時代、1908年の「戊申詔書」が由来で、国力増進発展のため、勤勉儉約すること、質素にすることなどが示されて生まれたと言われています。そして、「質実剛健」は女性に対して使われることもあります。男性のイメージが強い言葉です。だから、男女共学となった1948年に、「質実剛健」は「質実典雅」に改められたとのことでした。

現代は多様性の時代、ジェンダー平等を大切にするという観点から考え、今後は教育方針を「質実剛健」に代わり「質実典雅」に改めます。「質実典雅」の質実

り気がなく、質素で誠実なさまを、典雅は正しくととのって上品なさまを意味します。まさに、真面目で誠実、品が良い暇高生、皆さんにぴったりです。これからは「質実典雅」「文武両道」でいきますので、よろしくお願いします。

4月から皆さんは階段を一段上がります。階段を一段上がれば、見える景色は変わります。より遠くまで見渡すことができます。しかし一方で、近くの景色、つまり自分自身のことを見失いがちになります。しっかり、自分の弱点と向き合い、高い志を立てて頑張ってもらいたいと思います。特に、新3年生には次の階段はありません。あるのは、進路という新しい扉です。受験は団体戦です。77期生がチームとなって、「希望する進路の実現」という扉をこじ開けてください。そして、78期生は、暇高の中核として頑張ってください。

新年度を楽しみにしています。

以上で、3学期終業式の挨拶を終わります。